

# 平成21年度 農村防災・災害ボランティア平常時点検活動報告書

空知グループ

雨竜土地改良区施設

尾白利加幹線用水路



点検調査 平成21年7月15日(水)

調査員 ; 前田 武実、谷 幸二、尾崎 守、渡邊 和文  
小田島 徹、本間 智、松本 豊



## 用・排水路 見回り・点検結果(かんがい期)

用・排水路名称	尾白利加幹線用水路	管 理 者	雨竜土地改良区
用・排水路所在地	雨竜郡雨竜町	ボランティア氏名	空知グループ
見回り・点検年月日	平成21年7月15日	前田武美・谷 幸二・尾崎 守・渡邊和文 小田島徹・本間 智・松本 豊	

	点 検 見 回 り 項 目	判 定		
施設	・漏水が見られる			不明
	・亀裂が見られる	YES		
	・不等沈下が見られる		NO	
	・堆砂が著しい(見られる) ※山腹崩壊による堆砂跡が見られた	YES		
法面	・崩落が見られる	YES		
付帯施設	・漏水が見られる			該当なし
	・亀裂が見られる			該当なし
	・不等沈下が見られる			該当なし
付帯施設	・漏水が見られる			該当なし
	・亀裂が見られる			該当なし
	・不等沈下が見られる			該当なし
管理施設	・亀裂が見られる			該当なし
	・不等沈下が見られる			該当なし
	・安全施設(フェンス)が傾倒して危険である			該当なし
	・管理施設が施錠されていない			該当なし
コ メ ン ト	① 最初に点検を行った山腹流入水受入箇所については、施設の改良的要素が強いことから、支庁出張所へ相談を行い、現在採択になっている地区や今後採択予定の地区において、総合的な放水計画の検討を行うことが最良と思われる。又、スパン中央部のヘアークラックについては定期的な観察を行う必要があると思われる。			
	② 尾白利加幹線水路橋の下流部の危険箇所については、固結した火山灰系の土質が凍結融解の繰り返しによって山腹崩壊を起こし、それに伴って樹木のある表層部分の滑落が起きているが、水路壁からのステップがある程度あったためか、現況は崩落土が安定勾配状態となっている。			
	以前に国営事業で水路に蓋を架けていて、通水には支障が無く、損傷などは見当たらないが、一番心配されることは、通水時に大きな土塊が落下し、水路本体に対する被害はもちろん、近接している道々への影響だが、緊急時の対応マニュアルを設定しておくのが肝要。			
	現況を改善するには、用地取得や大規模な法面保護工が必要となり、維持管理の範疇を超えるものがあるので、事業化を検討するのであれば、支庁への相談が必要と思われる。			
	③ 尾白利加幹線危険箇所についても地すべりでは無く、山腹崩壊スタイルで原因は②と同じと思われるが、国営事業でフン箆を設置した部分はある程度ステップが有るため、多少は崩落土がオーバーランしているが支障は無いように伺えるが、ステップが殆どなく崩落土がオーバーランをして、水路本体に土砂堆積の状況を造り出している部分については、安定的な維持管理を期待するのであれば、恒久的な法面保護工の検討が必要だが、一時的な対策を考えるのであれば、蓋等の設置も視野に入れるのが良いと思われる。			

## 用・排水路 見回り・点検結果(かんがい期)

用・排水路名称 尾白利加幹線用水路① 管 理 者 雨竜土地改良区  
 用・排水路所在地 雨竜郡雨竜町 ボランティア氏名 空知グループ  
 見回り・点検年月日 平成21年7月15日 前田武実・谷 幸二・尾崎 守・渡邊和文  
 側点 No.98付近 小田島徹・本間 智・松本 豊

◎平時における危険箇所の判断基準

危険箇所		重点点検箇所	
①地形的な要因	④その他の要因	①急峻な法面	⑤道路横断部
②土質的な要因	⑤過去の被災要因	②沢地	⑥落差部
③線形的な要因		③軟弱地盤	⑦流入部
		④サイフォン等	

	項 目	有 ・ 無	有りの場合における状況
施設	漏水	有 ・ 無	・水路の1スパン中央部にヘアークラック有り ・地すべりではなく山腹崩壊の状態
	破損	有 ・ 無	
不等沈下	有 ・ 無		
亀裂	有 ・ 無		
法面	崩落	有 ・ 無	
		有 ・ 無	
付帯施設	漏水	有 ・ 無	} 問題無し
	亀裂	有 ・ 無	
管理施設	破損	有 ・ 無	} 問題無し
		有 ・ 無	

### ポンチ図又は写真

嵩上げコンクリート



山腹流入



クラックヶ所



堆水状況



ウィープホール



尾白利加幹線用水路は、山腹沿いに位置しており、山地からの排水流入を受ける用排兼用水路(U型フリーム)であり、断面は、排水流入を見込んだ断面(嵩上げ)としているが、平坦部では、放水する水路が無く、大雨時には農地に被害が及んでいる。但し、用水量が少ない場合には、排水流量を利用し取水している。

## 用・排水路 見回り・点検結果(かんがい期)

用・排水路名称	尾白利加幹線用水路②	管 理 者	雨竜土地改良区
用・排水路所在地	雨竜郡雨竜町	ボランティア氏名	空知グループ
見回り・点検年月日	平成21年7月15日	前田武実・谷 幸二・尾崎 守・渡邊和文	
側点 No.21付近		小田島徹・本間 智・松本 豊	

◎平時における危険箇所の判断基準

危 険 箇 所		重点点検箇所	
①地形的な要因	④その他の要因	①急峻な法面	⑤道路横断部
②土質的な要因	⑤過去の被災要因	②沢地	⑥落差部
③線形的な要因		③軟弱地盤	⑦流入部
		④サイフォン等	

	項 目	有 ・ 無	有りの場合における状況
施設	漏水	有 ・ 無	
	破損	有 ・ 無	
	不等沈下	有 ・ 無	
法面	崩落	①有 ・ 無	・地すべりではなく山腹崩壊の状態
付帯施設	漏水	有 ・ 無	
	亀裂	有 ・ 無	
	破損	有 ・ 無	
管理施設	漏水	有 ・ 無	
	亀裂	有 ・ 無	
	破損	有 ・ 無	

ポンチ図又は写真

<p>法面状況</p>  <p>嵩上げフルーム</p>  <p>施工時 70cm</p>	<p>堆積状況</p> 	<p>土砂堆積～蓋による対応</p> 
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>山腹沿いに位置しており、固結した火山灰系の土質が凍結融解の繰り返しによって山腹崩壊を起こし、それに伴って樹木のある表層部分の滑落が起きているが、水路壁からのステップがある程度あったためか、現況は安定勾配状態となっている。</p> </div>		

## 用・排水路 見回り・点検結果(かんがい期)

用・排水路名称	尾白利加幹線用水路③	管 理 者	雨竜土地改良区
用・排水路所在地	雨竜郡雨竜町	ボランティア氏名	空知グループ
見回り・点検年月日	平成21年7月15日	前田武実・谷 幸二・尾崎 守・渡邊和文	
側点 No.5～No.7付近		小田島徹・本間 智・松本 豊	

◎平時における危険箇所の判断基準

危険箇所		重点点検箇所	
①地形的な要因	④その他の要因	①急峻な法面	⑤道路横断部
②土質的な要因	⑤過去の被災要因	②沢地	⑥落差部
③線形的な要因		③軟弱地盤	⑦流入部
		④サイフォン等	

	項 目	有・無	有りの場合における状況
施設	漏水	有・無	
	破損	有・無	
	不等沈下	有・無	
法面	崩落	有・無	・地すべりではなく山腹崩壊の状態
付帯施設	漏水	有・無	
	亀裂	有・無	
	破損	有・無	
管理施設	漏水	有・無	
	亀裂	有・無	
	破損	有・無	

### ポンチ図又は写真

<p>法面状況</p> 	<p>堆積状況</p> 	<p>土砂堆積～ふとん籠による対応</p> 
<p>堆積状況</p> 	<p>崩落土がオーバーラン状況</p> 	<p>国営事業でフトン籠を設置した部分はある程度ステップが有るため、多少は崩落土がオーバーランしているが支障は無いように伺えるが、ステップが殆どなく崩落土がオーバーランをして、水路本体に土砂堆積の状況を作り出している部分がある。</p>